

用語解説

用語解説

序論

※1 バードゴルフ

合成樹脂製の羽付ボールをゴルフクラブで打ち、傘を逆さにした形状のホールに入れるまでの打数を競い合う日本発祥のスポーツ。飛距離が20m前後と短いため、老若男女問わず安心して楽しむことができます。

※2 メガソーラー

1 MW以上の出力を持つ太陽光発電システムのこと。民間企業による再生可能エネルギー関連事業の主要施設として、わんぱくらんど南側の山林にメガソーラーが整備されています。

※3 砂防ダム（さぼうだむ）

小さな溪流などに設置される土砂災害防止のための設備のひとつ。砂防法に基づき整備され、いわゆる一般のダムとは異なり、土砂災害の防止に特化したものを指します。

※4 林床（りんしょう）

森林の地表面。照度や風、湿度などの諸条件がその植生に影響を与えます。

※5 枝打ち（えだうち）

樹木の枝を切り落とす作業。主に節のない質の高い木材を生産するために行われます。

※6 下刈（したがり）

植栽した苗木の育成を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業。一般的に植栽後の数年間、毎年、春から夏の間に行われます。

※7 枝条（しじょう）

樹木の枝のこと。

※8 樹冠（じゅかん）

樹木の枝と葉の集まりのこと。

※9 林齢（りんれい）

森林の年齢。人工林では、苗木を植栽した年を1年生とし、以後、2年生、3年生と数えます。

※10 溪畔林（けいはんりん）

河川周辺の森林のうち、上流の狭い谷底や斜面にあるものを溪畔林と呼びます。天然の溪畔林における代表種として、ケヤキやサワグルミ、シオジ、トチノキなどがあります。

※11 標準伐期齢（ひょうじゅんばつきれい）

立木に関して、地域を通じた標準的な主伐の時期に関する指標、制限林の伐採規制等に用いられるものです。具体的には、市町村の区域内に生育する主要樹種ごとに、次に示す林齢を基本とし、市町村の区域内の標準的な立地条件にある森林の平均成長量が最大となる林齢を基準に、森林の有する公益的機能、平均伐採齢及び森林の構成を勘案して定められます。

なお、立木の標準伐期齢は、当該林齢に達した時点での森林の伐採を促すものではありません。

地 域	樹 種					
	ス ギ	ヒノキ	マツ類	その他 針葉樹	クヌギ コナラ	その他 広葉樹
本市全域	40年	45年	35年	50年	10年	20年

※12 長期施業受委託（ちょうきせぎょうじゅいたく）

所有者と森林組合等が森林施業に関わる受委託契約を結び、県から交付金を受けた森林組合等が森林の管理・整備を行うものです。10年以上20年以内の長期で契約を締結し、健全な人工林を育成するための施業が進められます。

※13 指定管理者制度（していかんりしゃせいど）

地方公共団体が公の施設の管理権限を指定した民間事業者、NPO法人などの団体や法人に期間を定めて委任する制度。

※14 グランピング

「グラマラス」と「キャンピング」を合わせた造語。自然に囲まれたロケーションの中で行う、贅沢で快適な宿泊設備とサービスによるキャンプのスタイルで、自然の醍醐味を味わうキャンプと快適に過ごせるホテルを融合したとたとえられます。

※15 生きる力（いきるちから）

平成8年に旧文部省の中央教育審議会第一次答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」の中で示された、これからの社会を生きていくために必要とされる資質や能力の総称。これには、自主性や主体性、自律性、協調性、道徳心、健康、体力など多くの要素が含まれています。

基本構想

- ※16 協働（きょうどう）
相互の立場を尊重し、役割及び責任を分任し、存分に出しあい、協力しあうこと。
- ※17 水源のかん養（すいげんのかんよう）
森林の持つ多面的機能のひとつで、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和し、川の流量を安定させることを言います。

基本計画

- ※18 林分（りんぶん）
構成樹種、樹高、密度などがほぼ一様で、隣接する森林と区別ができる、森林のまとまり。
- ※19 主伐（しゅばつ）
木を収穫し、木材としての利用を目的とした伐採のこと。
- ※20 択伐（たくばつ）
森林を一度に伐採せず、回帰年と呼ばれる期間毎に少しずつ抜き伐りし、天然更新によって次代の樹木を確保していく伐採方法のこと。
- ※21 収量比数（しゅうりょうひすう）
林分における本数密度が最大の時の材積を1とした場合の対象林分の材積比で、立木の混み具合の指標となります。収量比数から見た混み具合は以下のとおりです。

0.9以上	過密な林分
0.85～0.75	密な林分（密仕立て）
0.75～0.65	中庸な林分（中庸仕立て）
0.65～0.55	疎な林分（疎仕立て）
- ※22 中庸仕立て（ちゅうようしたて）
※21を参照。
- ※23 疎仕立て（そしたて）
※21を参照。
- ※24 ギャップ
林床が暗い森林において、倒木や伐採などによって生じた隙間的な空間のこと。林床に光が届くようになり、下層植生の成長が促されます。